

## 正眼寺蔵 木造裸形阿弥陀如来立像 第1回修理検討会

日時： 令和7年6月9日（月）午前10時から

場所： 有限会社古文化財保存修復研究所・工房

参加者（敬称略）：島崎英種（正眼寺住職）林宏一（元東京家政大学教授）久喜市教育部 栗原史郎  
久喜市教育部 山田果林 長井武志（有限会社古文化財保存修復研究所）  
長井まみ（有限会社古文化財保存修復研究所）

### ◎検討内容

#### 【本体】

- 1 全体の埃等を清掃する。
- 2 候補の表面の下地、彩色を除去する。
- 3 露わになった木地を補修する。
- 4 木部をいったん解体する（強固に接着されている部分は現状を保つ）。
- 5 解体した部材を再び組み立てる。
- 6 矧ぎ目を木屎漆で充填・整形を行う。
- 7 欠失している右耳・耳朶を新補する。
- 8 欠失している左手第3，5指の先端を新補する。
- 9 欠失している右手第3，4指の先端を新補する。
- 10 新補部分・補修部分に最小限の補彩を行い全体に調和させる

#### 【台座】

- 1 台座全体の清掃を行う。
- 2 各部材を解体する（現状でしっかり接着されている部分は無理には解体は行わない）
- 3 表面に剥落止めを行う。（膠・漆・合成樹脂等を使い分け行う）
- 4 取り外した部材を再接合する前に再度清掃を行う。
- 5 解体した部材を再び組み立てる。
- 6 矧ぎ目を木屎漆で充填・整形を行う。
- 7 欠損した表面に下地を施す。更に黒漆を塗り、漆箔を施す。
- 8 補修部分は最小限の補彩を行い全体と調和させる。
- 9 光背の軸木を固定する部分を修正する。

#### 【光背】

- 1 新たに円光背を新補する。
- 2 周円部と軸木を新たに製作する。
- 3 新補した木部に漆下地を塗り乾いたら磨ぐ（複数回行う）
- 4 周円部と軸木に黒漆を塗り乾いたのちに周円部のみに漆箔を施す。
- 5 周円部の内側（凹部分内側）に彩色（青）を施す。
- 6 全体（像、台座）に合わせ新補部に古色を施す。

正眼寺蔵 木造裸形阿弥陀如来立像 修理前写真



本体台座・正面



背 面



右側面



左側面



本体・正面



背 面



右側面



左側面



頭部・正面



頭部・背面



上半身・正面



背中部分



台座・正面



台座・背面



台座・底面部



框部・上面

## 正眼寺蔵 木造裸形阿弥陀如来立像 第2回修理検討会

日時： 令和7年8月1日（金）午後2時から  
場所： 有限会社古文化財保存修復研究所・工房  
参加者（敬称略）： 林宏一（元東京家政大学教授） 栗原史郎 山田果林（久喜市教育部）  
長井武志 長井まみ（有限会社古文化財保存修復研究所）

### ◎検討内容

#### 【本体】

- 1 後補表面除去後の状況確認
- 2 解体後の木部等の確認
- 3 露わになった木地表面の今後の修理方針の確認
- 4 欠損、欠失部の修理方針の確認

#### 【台座】

- 1 台座・部分解体の状況確認
- 2 清掃後の表面の修理方針の確認
- 3 損傷部の補修方針の確認

#### 【光背】

- 1 今回は特に確認事項はありません

### 正眼寺蔵 木造裸形阿弥陀如来立像 修理前写真



本体台座・正面



背 面



右側面



左側面



本体・正面



背 面



右側面



左側面



頭部・正面



頭部・背面



上半身・正面



背中部分



台座・正面



台座・背面



台座・底面部



框部・上面

修理写真



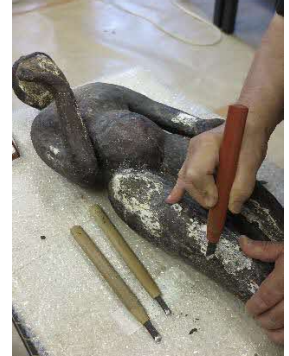
清掃作業



後補表面の除去



除去途中



大腿部の除去作業



腹部の除去作業



右腕の解体作業



頭部の解体



体幹部の解体



解体写真



台座の清掃作業



汚れの除去作業



蓮肉部の清掃



清掃作業



清掃作業



清掃後の蓮華部



清掃後の台座



框部の剥落止め作業



剥落止め作業



剥落止め作業

<検討会での確認決定事項>

- 1 本体の表面について  
顔は深い凹部分の穴は木屎漆にて充填・整形を行う。  
体幹部の凹部分は現状を維持し、残っている胡粉（白）部分は希釈した漆溶液にて補彩し目立たなくする。
  - 2 本体修理について  
接合は膠を用いて行う。後補部（下腹部・左右の足先等）は現状のものを用いて行う。  
左右の指先の欠損・欠失部は補修・新補する。  
白豪を水晶で新補するかは、お寺様に検討してもらう。
  - 3 台座は部分解体したものを再び組み立てる。  
表面は剥落止めを行い新たな補箔は控える。  
框部は、新たな補彩を行う。
  - 4 光背は円光背を新補し、軸を台座に取り付けるための柄穴は現状の穴を調整して用いる。
- ※ 1 についての補修状態を林先生に途中確認していただく。（第二回検討会前）